

2014年の願いと想い



①小野深雪さん(写真右)
 ②福島県いわき市
 ③松戸市
 ④妊娠中で子どもへの影響を考慮して3/15にいわき市から松戸市に避難。4/1に第3子を出産し、今に至ります。
 ⑤汚染水の対策を早急にしてほしい。オリンピックへ向けてよりも、復興を優先にして欲しいです。

読者の皆さん、新年明けましておめでとうございます。旧年はお世話になりました。これからもよろしくお願いします。
 サロンに来て頂いている避難者の皆さんに2014年への願いと想いを伺いました。

<アンケートの内容>

- ①お名前
- ②避難元の市町村
- ③現在住んでいるところ
- ④避難の経緯
- ⑤2014年への思い。要望(国、自治体への願いも可)

①佐藤恵さん
 ②福島県浪江町
 ③千葉県市川市
 ④津波にて家屋が流されてしまったため、浪江町(津島)に避難し、子どもがいる浦安市を経て市川市に避難。子どもは印西市に転居した。印西市に孫に会いに行く日々です。
 ⑤除染を早くしてほしい。復興住宅を早く作って欲しい。



①熊谷道子さん ②岩手県大船渡市 ③松戸市
 ⑤皆さん、いつもありがとうございます。黄色いハンカチは第2のふる里です。

①齋藤美鈴さん ②福島県いわき市 ③松戸市
 ④震災直後、娘がいる松戸に移住いたしました。私の家の下に震災後活断層があり、住むのにかなり危険だったためにこちらに参りました。大変な出来事でしたが、皆様と知り合えたことを感謝しております。
 ⑤こちらで0からの出発でしたので仕事の面で大変苦労致しました。私のように再出発したいが、資金もなにもなく切ない思いでいる方がたくさんいることと思います。こちらでの再度仕事をする助けが欲しいと調べましたが、なかなかなくやっと今年会社を立ち上げました。私たちのようなやりたいけど・・・と悩む方に手をさしのべて欲しいと思います。

①高田良子さん ②福島県南相馬市(原町区) ③松戸市
 ④3/11~18は知人宅に避難。3/18から群馬県の避難所に。7月の始めより松戸市借り上げ住宅を2か所移転し今に至りました。
 ⑤国が被災者の立場にたった誠意ある指針を法律にして行動に移してもらいたい。自分自身にできる限りの自立を目指したい。また、交流サロン黄色いハンカチの充実も大いに目指したいです。

①森川マツ子さん ②福島県浪江町 ③松戸市
 ④震災直後は南相馬市に避難した後に実家のある飯館村を経て、2011年4月から息子のいる松戸市に避難してきました。
 ⑤復興費を有意義に使って欲しい。福島は復興なくして、日本はないと言っているのになに一つ現状は変わっていない。都会の人達は震災の事も忘れて来ています。もっと現実を知って欲しい。

①鎌田好都子さん ②福島県南相馬市(小高区) ③松戸市
 ④南相馬市の小学校に避難し、群馬県にある宿泊施設「ふれあいの郷」を経て、柏市・松戸市へと避難しました。
 ⑤家族一同、早く一緒に住みたいと思います。

避難ママとパパと一緒にクリスマスロールケーキ作り教室を開催!

12月14日(土)に松戸市民会館を会場にクリスマスロールケーキ作りを開催しました。子ども6名を含む、13名の避難者が参加しました。講師には交流サロン「黄色いハンカチ」にパウンドケーキを作って頂いている元パティシエの西村泰久さん(写真右下)がプロの技を伝授しました。参加者は4班に分かれて生地作りから始めました。その後、焼きあがった生地をロールに巻き、一人一人デコレーションをしていきました。当日は古宮保子代表を含め5人の協力がありました。



子どもと一緒にロールケーキ作りをしました



電動車いす生活をしている元パティシエの西村さん

黄色いハンカチ忘年会2013を開催!

12月10日(火)に交流サロン黄色いハンカチで忘年会2013を開催。避難者や市民など38名が参加。古宮保子代表と大内恵子 浪江町復興支援員・豊田吉彦 福島県生活環境部避難者支援課(東京都在住)主任主査の挨拶の後に乾杯。
 皆さんと2013年を振り返りながら、楽しい時間を過ごしました。



大内浪江町復興支援員(左)と豊田避難者支援課主任主査(右)



挨拶をする古宮代表

明治製菓よりお菓子寄贈

12月5日(木)に明治ホールディングスよりスナック菓子やチョコレートなどのお菓子6種類、合計450点が寄贈されました。これは明治の株主の皆様からの贈られたもので、震災支援活動をしているNPO法人など333団体に寄贈されています。ありがとうございました。